

新評論

2020

3

No.301

発行所 © 新評論 2020年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税抜

大学は建物ではない、学生たちの踊り場だ。2014年竣工の早大新3号館。かつて筆者がかつた地下部室は強制撤去され、醜いガラス張りの上階が建て増された(©Dick Thomas Johnson)



4月からはじまる新制度は欠陥だらけのトンデモ施策だ！
偽りの無償化を撃ち、学生生活の喜びを讃える思考の武器

奨学金なんかこわくない！

『学生に賃金を』完全版

栗原 康

◆ジャンル：大学授業料・奨学金／高等教育／文科政策

大学に将来はない。いま死んでもいい。いまこの一瞬だけを永遠に繰り返したい。これを読んだら死んでもいい、そんな本にであってみたい。これをやったら死んでもいい、そんなセックスをしてみたい。人間にとって、それ以上にない。じなことはあるだろうか。TIME GOES AROUND 愛を握りしめ、TIME GOES AROUND おまえを放さない。

ふだん、わたしたちは将来に飼いなされてる。よりよくなれ。みんなからもつと使えるやつだとおもわれない。でもそれがあたりまえになってしまおうと、たとえ死ぬほどツライ目にあつたとしても、いまはガマンだと耐え忍んでしまおう。メンタルを病んでも、体を壊しても。

だが、いちどでもいい。永遠のいまを感じたことがあるならば、身体が勝手にうごきます。みんなにどうおもわれるかなんて関係ない。やるならいましかない。いつだっていましかない。スマホを地面に叩きつけ、未知の彼岸で踊ります。

大学無償化とは、この将来でがんにがらめの世のなかで、たった四年間でもいい、いまを生きる機会をつくりだそうというものだ。授業料は全員タダ。全員に生活費がくばられる。みんなそうだから

負い目なんて感じない。

日本の大学はこれに逆行することばかりやってきた。高い学費、奨学金で借金漬け。カネをだしてくれたひとに恩を感じさせ、それに報いることを意識させる。いま政府が「無償化」を謳っているのも同じことだ。一、二割の貧しい世帯だけにカネをだし、かれらに極度の負い目をうえつける。お世話になったみなさんのためにも、将来、立派な人間になりましょう？ 封建かよ。

偽りの「無償化」はもうたくさん。学費は高いぞ。奨学金は借金だぞ。借金のとりたてはきびしいぞ。そろそろ、将来のくびきを断ち切って、真の無償化を待ちとうろ。学費はゼロ。奨学金なんてこわくない、返さなくてもいいのなら。逃げろ。この腐った世界から転がっていいこうぜ。いまが最高！（くりはら・やすし）

ISBN978-4-7948-1149-3 3月刊

四六並製 予二七二頁 予二〇〇〇円

*2015年刊「学生に賃金を」にその後の状況変化をふまえて大幅加筆、新たな資料をくわえた増補完全版

*追補資料①付表 大学授業料と世帯、②グラフ 大学授業料の上昇傾向、③大学はちつとも「無償化」なんかされてない！——「高等教育の修学支援制度」(2020年4月)の大問題・徹底解説

著者 1979年生まれ。作家、政治学者、大学非常勤講師（専門：アナキズム研究）。早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程満期退学。白石嘉治との共著「文明の恐怖に直面したら読む本」(Pヴァイン)、「執念深い貧乏性」(文藝春秋)、「アナキズム」(岩波新書)など著書多数。



ワンダーランド・カルカー遊園地
(ドイツ)。脱原子力は早ければ早いほど巨額な無駄と、巨大なリスクを無くし、豊かな地域づくりを促す(Photo: Koetjuh, 10 June 2008)

3・11から9年。日本の脱原子力、エネルギー転換を改めて考える。
倫理と民主主義を基盤とする市民・専門家・政界・産業界との共同

脱原子力 明るい未来のエネルギー

ドイツ脱原発倫理委員会メンバー
ミランダ・シュラーズさんと考える「日本の進むべき道筋」

折原利男 編著／ゲスト・ミランダ・シュラーズ

◆ジャンル：脱原発・エネルギーシフト

写真は脱原子力の未来を象徴するドイツ北西部のワンダーランド・カルカー遊園地。二〇一八年二月に招聘したミランダ・シュラーズさんがぜひ紹介したいと見せてくれた一枚です。元は約五〇〇億円で建設した高速増殖炉。地元・周辺住民と州政府の反対で一度も稼働せず閉鎖、幸い放射能汚染もなく遊園地になりフオームされました。高さ五五mの外壁はクライミンググウオールとなり、中は空中ブランコなどで歓声に満ち毎年約六〇万人が訪れます。ドイツではなぜこのような道を選ぶことができたのでしょうか。

3・11直後にドイツを脱原発に導いた脱原発倫理委員会の委員の一人ミランダさんは、脱原発への道筋を経験的に語る研究者・教育者・市民活動家として世界的に活躍中です。本書は福島市、郡山市、東京で行われた「ミランダさん講演会実行委員会」(代表：池住義憲)による講演会、トークセッション、福島の高校生や市民、農家の方々、国会議員との交流等を記録、編集したもの。国と社会の将来を左右する脱原子力とエネルギー転換のあり方をテーマに、ドイツ先進事例に裏付けられたミランダさんのポジティブな提言を共有し、わが国の進むべき道筋を捉え直す場として企画されました。

日本は3・11後二年近く全原発を停止

させ、ドイツより早く脱原発を世界に示した、このことを日本人たちは倫理の問題として認識し直し、その事実を誇りとすべきだと、ミランダさんはくり返し強調します。そして真の脱原子力、脱化石燃料、再生可能エネルギー社会を築き上げるには市民、専門家、政界、産業界の共同作業が必要だと、これを「開う民主主義」と不可分なものとして実践してきたドイツの歩みに引き寄せながら説得力をもって語ってくれました。

一九八〇年の初来日以来、日本滞在通算五年というミランダさんは、日本の同調圧力的政治文化が持つ壁をズバリ指摘した上で、「未来を創る若者は希望が持てる仕事を求めている」と、自然・モノ・人との調和を重視した個性あふれる多種多様な地域づくりこそが再生可能エネルギー社会への近道だと言います。出口なきかの原子力問題に勇気と希望を与えてくれるミランダさんからの具体的提言、メッセージを多くの方々と共に共有できればと願っています。(おりはら・としお)

ISBN978-4-7948-1146-2 2月刊
四六並製 二〇〇頁 予一八〇〇円

好評刊
福島核電事故を経たエネルギー転換
(ドイツの特殊な道か、それとも世界の模範か)
P.ヘンツケ・P.J.J.ヴェルフェス／高橋美咲
三〇〇円
国際的エネルギー転換に向けた世界最高水準の比較研究

編著者 折原利男 (1950～) 元高校、現専門学校教員。小説、評論、ドキュメンタリー等執筆多数、同人雑誌編集者。ゲスト ミランダ・シュラーズ (1963～) ミュンヘン工科大学教授。ドイツを脱原発に導いた倫理委員会委員。研究者・教育者・市民活動家として世界的に活躍。



本書挿入イラストより「教師時代の私たちがこわかったこと」。いいアイデアを思いついても、「かえって教室が混乱するのでは、生徒たちの成績に響いたらどうしよう、失敗したら校長先生の評価が下がるのでは」…と二の足を踏んでしまう。本書はそんな悩める先生方の強い味方になってくれます！

生徒たちと学びつづけてきた誠実な“先輩”からの最良の助言。
「権限」「選択」「主体性」を軸とした最新・最良の授業法！

あなたの授業が 子どもと世界を変える

エンパワーメントのチカラ

ジョン・スペンサー & A・J・ジュリアーニ / 吉田新一郎 訳

◆ジャンル：教育

生徒が自立した学び手になるために、教師は生徒をどうエンパワーしたらいいのでしょうか。本書では、「選択」と「オーナーシップ」をキーワードに、エンパワメントの主人公となる生徒にいかに関与し、「権限を与える」かが、具体的なエピソードとともにやさしく説明されています。また、筆者たち自身がそれまで現場で実践してきた授業を「観光バス」にたとえて振り返り、観光客（生徒）をバスに乗せ（自分たちがつくったカリキュラムにおしこめて）、観光ガイドとして振る舞っていた、と反省するくだりは、なかなか興味深いものです。

すべてのブレイクスルーは、州のテスト後の空いた授業日に行った、移民についてのドキュメンタリーをつくるプロジェクトでした。うまくいったとは決して言えませんでしたが、選択することに慣れていない生徒たちが、混乱しながらも次第に学びのオーナーシップを発揮していったのです。このような経験から筆者たちは授業の見方を変え、「生徒が自分で判断できるのに、教師の私が判断してしまっているケース」を洗い出していきます。生徒をエンパワーしたいと思っ

いるすべての教師にとって、背中を押してくれるエピソードと言えます。

学びに関する選択肢を提供されたからといって、それだけで生徒が自立的な学び手になるわけではありません。自立的な学び手は、自発的に行動し、自己を管理することが出来ます。本書には、そのような姿勢を育むために教師のできることで、すべきこと、具体的な働きかけ方や学習環境のつくり方が、ワクワクするようなアイデアやエピソードとともに紹介されています。実践家たちの柔軟な考え方やマインドセットに触れることで、きっと「このプロジェクト、自分でもやってみようかな」という気になることでしょう。生徒だけでなく教師もエンパワーする内容です。

（翻訳協力者 井久保大介）

ISBN978-4-7918-1148-6 3月刊

四六並製 一二八頁 予一八〇〇円

教育のプロがすすめる**選択する学び**

（教師の指導も、生徒の意欲も向上）
M・エンダーソン / 吉田新一郎 訳 二五〇〇円

好評刊

教育のプロがすすめる**イノベーション**
（学校の学びが変わる）
G・クーロス / 白鳥信義・吉田新一郎 訳 二七〇〇円

著者 John SPENCER 12年にわたり中学校教師を務めたあと、大学で本書の内容を教えている。A.J. JULIANI 中学と高校の教師を務めたあと、現在は教育委員会で指導主事的な仕事に従事している。それぞれの名前+teacherで検索すると、両者のサイトやブログが見られる。



教科書を見ただけで圧倒され、やる気をそがれてしまう生徒も多い（写真は日本の高校で使われている教科書の例。撮影：IBC MAST）

教科書、それは「退屈で面白くない授業」の象徴…生徒たちを「教科書疲労」から解放し、魅力的な授業をつくるヒント満載!

教科書をハックする

21世紀の学びを実践する授業のつくり方

リリア・コセット・レント／白鳥信義・吉田新一郎 訳

◆ジャンル：教育

すでに学校を卒業した大人たちに、「授業」という言葉から何を連想するかと尋ねれば、おそらく真っ先に出てくる答えが「教科書」ではないでしょうか。そしてその言葉には、「退屈で面白くない」というマイナスのイメージがつきまといていることでしょう。本書ではこれを「教科書疲労」と名づけ、そこから生徒たちを解放するための方法——教科書に必要以上に縛られない、ワクワクする魅力的な授業をつくりだす方法を詳しく解説したものです。

たとえば第4章「学ぶために読む」では、生徒が能動的な読み手となり、内容についての理解を深めるために、教科書以外の情報をどう活用し、問いの立て方や話し合いをどう工夫すればよいかが分かりやすく説明されています。また、第5章「学ぶために書く」で紹介される「インタラクティブなノート」も、効果的な学びを促進する有効な方法です。このノートには日々の実践内容だけでなく、話し合いのなかで出てきた意見や資料の分析、授業の振り返りなどが記録され、「主体的・対話的な学び」を継続するうえで重要なツールとなります。

日本の学習指導要領でも「主体的・対

話的で深い学び」が重要なポイントとされていますが、決められた教科書をもとにそのような学びをどうすればつくりだせるのか。その具体的な方法は教師が自分で考え出さねばなりません。本書にはその数々のヒントが大変分かりやすく説明されています。たとえば教師と図書館司書が協力して、教科書とは別に学びを深めるような資料のセットを用意すれば（本書では「テキストセット」と呼ばれます）、生徒の好奇心を刺激し、主体的で対話的な学びを促進することができそうです。

いま教育分野では、教師が「教える」ことよりも「学ぶ」ことを優先させるべきというのが世界的な潮流となっています。本書はそれを踏まえて書かれており、授業の改善を志す先生方の力強い味方となってくれるでしょう。

（リリア・コセット）

ISBN978-4-7948-1147-9

3月刊

四六並製 三四四頁 予二四〇〇円

宿題をハックする

二四〇〇円

〔学校外でも学びを促進する10の方法〕

S・サックシュタイン・C・ハミルトン

好評刊

成績をハックする

二〇〇〇円

〔評価を学びにいかす10の方法〕

S・サックシュタイン／高瀬裕人・吉田新一郎 訳

著者 ReLeah Cossett LENT 中学・高校での教職経験後、セントラルフロリダ大学のリテラシー・プロジェクト創設メンバーとなる。現在は教育コンサルタントとして、リテラシーから学校・教育委員会の実践課題まで、幅広いテーマでワークショップを行っている。

オーデュボンの鳥

ジョン・ジェームズ・オーデュボン

〔アメリカの鳥類〕セレクトション

絶滅種から身近な小鳥まで、150

点の精緻な彩色版画で楽しむ圧巻

の全米野鳥画集。鳥類学最高傑作

を小型版・オールカラーで!

ISBN978-4-7948-1138-7 近刊

A5並製 二二二頁 二〇〇〇円

著者 John James AUDUBON(一七八五
〜一八五二)アメリカの鳥類研究家・画家。
本作のほかにW・マクギリヴレイとの共
著『鳥類の生態』、遺作『北米の哺乳動物』。

フィンランド公共図書館

吉田右子・小泉公乃・坂田ヘントネン亜希

〔躍進の秘密〕フィンランドの知

識の森によろこそ!各地の公共図

書館を通してみるこの国の秘密。

四六上製 二七二頁 二五〇〇円



「関さんの森」の奇跡

関啓子

〔市民が育む里山が地球を救う〕

環境教育の源であり憩いの場である生

態系の宝庫を守る市民の闘いの記録。

四六並製 三三〇頁 二四〇〇円



再開発は誰のために?

竹居治彦

〔欺罔と浮利で固められたマンション〕

「ラ・トゥール代官山」住民目線で

徹底調査を行った執念の取材記録。

四六並製 三三〇頁 二四〇〇円



未来を創造する物語

C・ディオ／丸山 亮・竹上沙希子訳

〔現代のレジスタンス実践ガイド〕

「人を動かすのは警告ではなく物語

である」。人々を世界的な環境行動へと

導いた映画『TOMORROW』の監

督が、もう一つの行動を呼びかける。

ISBN978-4-7948-1145-5 近刊

四六並製 予二〇〇頁 予一八〇〇円

著者 CUDION 一九七八年フランス・ボワ
シエ生まれ。循環型社会を目指す運動体「コリ
ブリー(ハチドリ)運動」の立ち上げに参加。社
会・環境雑誌『L'Espresso』の共同編集に携わっ
た後、映画『TOMORROW』の共同監製に携わっ
た。『TOMORROW』で世界的な脚光を浴びる。

地球に降り立つ

B・ラトゥール／川村久美子訳・解題

〔新気候体制を生き抜くための政治〕

バリ気候協定後の世界とトランプ現象の根

幹をどう理解し、思考の共有を図るべきか。

四六上製 二四〇頁 二二〇〇円



だれもが科学者になれる!

C・ピアス／山崎正美・白鳥信義・訳

〔探究力を育む理科の事業〕1年を通

じてワクワクできる理科授業づくりの秘

訣満載!「探究」の本質が分かる一冊。

四六並製 三三〇頁 二四〇〇円



ソビエト・ミルク

N・イクステナ／黒沢 歩訳

〔ラトヴィア母娘の記憶〕ソ連体制

下に生きて自由を求めた母娘の行

く末は……。ラトヴィア文学の傑作!

四六並製 二八〇頁 二〇〇〇円



岡本哲史・小池洋一 編著 『経済学のパラレルワールド——入門・異端派総合アプローチ』

主流派以外にも目を向けて

■評者 中村達也(経済学者)

かつて日本の大学で経済科目の柱となっていたのは、マルクス経済学と近代経済学。その近代経済学は、新古典派のミクロ経済学とケインズ派のマクロ経済学から成り立っていた。ところが、石油ショックに直面した一九七〇年代になって、先進諸国が不況の中で物価高騰に見舞われ、ケインズ経済学の有効性に疑問符が付けられるようになった。さらに、ベルリンの壁の崩壊と東西冷戦の終結を境に、マルクス経済学の勢いが次第に弱まっていった。そして気がつけば、経済学の主流派の位置を占めていたのは新古典派経済学

で、それを背後で支えていたのが新自由主義の哲学であった。一方、現実経済に目を向ければ、市場経済の調整機能を重視する新古典派経済学を支えに、規制緩和、構造改革、グローバル化が急速に進められた。労働市場の流動化、小さな政府路線の下での福祉政策の見直しも進められた。同時に、そうした政策のもとたす負の側面が様々な形で露わになっている。バブルの発生と崩壊が繰り返され、労働環境の劣化と格差の拡大が進んだ。そして地球環境問題の深刻化、等々。

経済学を学ぶ学生達には、主

『東京・中日新聞』2020年1月12日

流派経済学以外の異端派の「パラレルワールド」があることに関心を持ってほしいし、政策立案に関わる人達には、主流派経済学の枠組みでは掘り取ることのできない現実の複雑さに思いを寄せるために、異端派経済学のメッセージに注目してほしい。著者達のそんな熱い想いがひしひしと伝わってくる。

例えば、K・ポランニーのメッセージ。市場経済は、元来は社会に埋め込まれていたはずであったのに、今やその社会から抜け出て、逆に社会をその支配下に置くようになってしまった。人間を労働力や消費者としてし

か見ないがために、人間から人間らしさを奪い、自然を資源や廃棄物の捨て場としてしか見ないがために、深刻な環境問題を引き起こしている。まさに今日的な緊急問題へのメッセージである。五百ページを超える大冊で、読み応え充分。

もう一冊 ジャン・ティロー 著／村井章子 訳『良き社会のための経済学』(日本経済新聞出版社)

経済学のパラレルワールド

岡本哲史・小池洋一 編著

〔入門・異端派総合アプローチ〕

マルクスやケインズに発する反

新古典派の最新理論を懇切に解説。

A5並製 五二〇頁 三五〇〇円

「西日本新聞」書評
ISBN978-4-7948-1140-0

経済学の
パラレルワールド

反主流・異端派経済学のめくるめく世界へようこそ

『経済学のパラレルワールド』は、新古典派経済学を批判的に検討し、マルクスやケインズなどの異端派経済学を総合的に紹介する入門書である。本書は、経済学の歴史と現状をわかりやすく解説し、読者に経済学への関心を喚起することを目的としている。

本を売る

専門書棚のつくり方基本編

もうすぐ春、新しく書店業界に入る方も多い時期ですので、今回は人文書をはじめ専門書を初めて担当する書店員さんに向けて、基本的な本の揃え方を少しだけお教えしたいと思います。本屋の本棚は最初からあるのではなく、誰かが一冊ずつ手で並べています、というお話。

まずはそのジャンルの構成を確認します。歴史なら日本史、東洋史、西洋史、民俗学と文化人類学に分けるのが一般的。そうした枠組自体が恣意的だという視点は極めて重要ですが、不特定多数のお客さんが本を探すには伝統的配架の方が理に適います。

分野ごとに入門書を数冊読んで基本知識を押さえた後、巻末のブックガイドがしっかりしている本をもとにジャンルごとの必備タイトルをリストアップします。例えばナショナリズム論なら、アンダーソンの『想像の共同体』はどこでも基本書として紹介されている筈。

その次は重要著者の本を揃えて

いきます。基本書の著者はもちろん、分野ごとのキーパーソン、研究の第一人者を押さえます。簡便なのは岩波講座など「講座もの」や定番事典の編集委員を調べることも。また学統の広がりを考えれば、東大と京大でゼミを持つ教授は覚えておいて損なし。自分の店から近い大学の先生たちも忘れずに。さらに出版社ごとの図書目録に全て目を通します。今日はこちらの版元、明日は新評論、という具合に。書店員の愛読書は出版目録であるべきで、本の紹介文に「必読の定番書」とか「不朽の名著」とか書いてあったら、嘘かもしれないが仕入れてみましょう。

最後に、臆面もなく他の書店に足を運びましょう。見たこともない素敵な本に出会えます。

以上きちんとやるには半年はかかりますが、その頃にはお客さんから何を聞かれてもすらすら答えられていることでしょう。担当者が棚を愛しているかどうかは、見る人が見ればすぐに分かります。いい書店を作りたいという同志が一人でも増えますように。

紀伊國屋書店 新宿本店

三木哲夫

本誌表示価格はすべて税抜です。

書評日誌(11・12~2・1)

●書評 ●紹介 ●関連記事

- 11・12 ④新潟日報『メイド・イン・ツバメ』(著者談)
 12・5 ④新潟日報『メイド・イン・ツバメ』(11/22出版記念講演会の模様)
 12・31 ④地域・アソシエーション『経済学のパラレルワールド』
 1・1 ④学校図書館速報版『100年前から見た21世紀の日本』
 1・11 ④日本経済新聞『フィンランド公共図書館』
 1・12 ④東京新聞・中日新聞『経済学のパラレルワールド』(中村達也)
 1月号 ④文学界『黙示のエチュード』(栗原康/マニユエル・ヤンを理解するための10冊)
 ④人民中国『歌で革命に挑んだ男』(著者談)
 ④広報ちゅうおう(山梨県中央市)『100年前から見た21世紀の日本』

2019/20冬号 ④ラテンアメリカ時報『経済学のパラレルワールド』(桜井敏浩)

2020年冬号 ④こどもとしょかん(東京子ども図書館)『フィンランド公共図書館』

2・1 ④週刊東洋経済『100年前から見た21世紀の日本』(著者に聞く)

『週刊東洋経済』紹介

ISBN978-4-7948-1135-6



〔大正人からのメッセージ〕
 池上彰氏も絶賛、閉塞打開の鍵を歴史に探るシリーズ最新作。
 四六並製 二六八頁 二〇〇〇円

100年前から見た
 21世紀の日本
 大倉幸宏

本を読む

だれもが「科学者」になれる！

こんな理科の授業ができたなら楽しいだろうなと思わせてくれる本でした。具体的な方法が詳しく述べられているので、授業内容としてすぐ実践できるのも魅力です。（現状の学校カリキュラムでは、相当な努力と同僚を含めた周囲の説得が必要になりますが）。理科だけでなく、すべての教科で応用できるエッセンスが示されています。（川崎市 教員 岡田 渉 43歳）

黄昏の夜明け

面白かった。読み始めるとどんどん引き込まれていく。対談形式なのも良いのだと思う。昨今はAIの発達で、テキストピアの到来だ、シンギュラリティによって人類は追いやられるといったことが指摘されるが、そうか、それは僕達には「事故」として見えるのだと気づかせてくれました。大感謝の一冊。「夜明け」にしましょう。

みんな。三次市 児童指導員
下光博之 58歳

スウェーデンに学ぶ

ドキュメンテーションの活用

本誌昨年3・4月号の本欄で、藤井修さんという方の感想を読み、感動して買いました。営利目的の民間保育所が方々に出す広告に、耳障りのいい文言が踊っていることに強い不安を感じています。0歳児、1歳児を育てる中で、彼女らを出発点に育児をすることを大切にしたいと思えました。私たちは皆、社会のために生きるのではなく、社会をつくる一員です。（大阪市 保育士 大矢仁美 31歳）

好評刊

黄昏の夜明け

（光速度社会の両義的現実と人類史の「今」）
P. ヴィリオリオ 聞き手 S. ロットマン
土屋 進訳 二七〇〇円

あなたの知らない政治家の世界

（スウェーデンに学ぶ民主主義）
C. ウリン/アッフルヤード和美訳 三三〇〇円

スウェーデンに学ぶ

ドキュメンテーションの活用

（子どもから出発する保育実践）
白石淑江編著 二四〇〇円

編集部から

4月から「高等教育の修学支援制度」が実施される。これをもって政府・文科省は「大学無償化」を謳うが、看板にゆゆしき偽りあり。①「4人家族で世帯年収270万円以下」など低所得世帯出身者しか全額補助されない、②最大で全学生の2割ほどしか対象にならない、③従来の減免制度廃止でむしろ負担の増える学生が2万人も出る、等々、制度・理念上の欠陥と出し惜しみ感が半端ないのだ。いまや超売れっ子作家・政治学者の栗原康さん、これに怒った。2015年刊『学生に賃金を』に大幅加筆した完全版をたたきつける。万国の学生に全人類よ、転がろう！初版後5年、文科政策がいかに迷走してきたかをしめす追補資料も圧巻。新刊「奨学金なんかこわくない！」ご期待ください！

営業部から

▼直近3ヶ月（2019年11月～2020年1月）弊社の書籍売上ベスト15をご紹介します。
①フィンランド公共図書館
②ソビエト・ミルク
③経済学のパラレルワールド
④地球に降り立つ
⑤たった一つを変えるだけ
⑥スウェーデンの
小学校社会科の教科書を読む
⑦教科書では学べない数学的思考
⑧あなたの知らない政治家の世界
⑨100年前から見た21世紀の日本
⑩だれもが「科学者」になれる！
⑪改訂増補版 読書がさらに楽しくなるブッククラブ
⑫スウェーデンにおける野外保育のすべて
⑬「関さんの森」の奇跡
⑭ギヴァー 記憶を注ぐ者
⑮最高の授業

SBC（新評論ブッククラブ）のご案内

会員は送料無料で各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ（一九九九年発足）は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。